

平成20年度に見込まれた
収支不足額の解消は?!

平成20年度の財政効果額
の見込み額8億7千517万円
に対して、実績額は8億4
千167万円…。

あれ?見込みよりも実績額の方が
3千350万円少ないけど…。
まさか赤字だったの?



確かに平成20年度の財政
効果額だけで比較すると
収支不足が解消されていな
いように見えるね。でも、この表は
中期財政見通しを作成した当初に見
込んだ『財政健全化に向けた取り組
み』だけに限定したものなんだ。

実際の決算では、その取り組み以
外の歳出削減効果額もあるし、ほか
にもいろいろな要因があつて歳入歳
出が増減して
いるんだ。

広報のぼり
べつ8月号



▲広報のぼりべつ2009年8月号

【平成20年度
の決算状況】
でもお知らせ
しているとお
り、一般会計
では5億7千949万円以上の繰越
金(黒字額)が出ているから赤字に
なったわけではないんだよ。

【表3】平成20年度各会計決算額

会計区分	歳入	歳出	差引額
一般会計	183億1,262万円	177億3,312万円	5億7,949万円
特別会計	国民健康保険	62億6,314万円	7億5,666万円
	学校給食事業	3億3,322万円	29万円
	公共下水道事業	36億4,664万円	64万円
	老人保健	5億5,781万円	1,914万円
	簡易水道事業	2,608万円	1万円
	介護保険	27億5,583万円	3,583万円
	カルルス温泉スキー場事業	1億222万円	0円
	後期高齢者医療	5億5,509万円	85万円



『財政健全化に向けた取
り組み』以外にも歳入と歳
出の増減要因があつて、結
果として黒字だったということね。

うーん、それは分かったけど、中
期財政見通しと決算を比較する場合
ほかに何か分かりやすいものはない
の?

【表4】歳入不足の補てんに使える基金残高

区分	平成20年度末残高		
	見通し	決算	比較
財政調整基金	5億1,000万円	5億8,300万円	7,300万円
減債基金(ルール外分)	4,700万円	4,400万円	△300万円
備荒資金組合超過納付金	3億1,500万円	5億2,500万円	2億1,000万円
合計	8億7,200万円	11億5,200万円	2億8,000万円

※見通し欄は『財政健全化に向けた取り組み』後の残高です。



財政状況を把握するため
に大切なものの一つに基金
の残高があるんだ。

基金は家計でいう貯金に当たるも
のだけど、中期財政見通しで見込
んだ財政調整基金(財政用語解説)な
ど歳入不足の補てんに使える基金残
高は8億7千200万円だったけど、実
際には11億5千200万円だったんだ。



見通しよりも2億8千万
円貯金が増えたから、その
分改善されたということ?



そういうことになるね。
さまざまな取り組みの結
果、貯金を下ろして使う額
が減ったので、基金(貯金)は見通
しよりも多く残ったんだ。



ということは、平成20年
度決算は中期財政見通しよ
りも改善されたと言ってい
いのね?



確かに決算では見通し以
上の繰越金が生じたし、基
金の取り崩し額も圧縮でき
たことは見通しよりも改善された
と言えるよね。

でも、平成20年度は職員の退職者
数がとて多かったもので、当初の見
込みよりも退職手当債(財政用語解
説)を多く借り入れた分、市債の額
はそれだけ増えているし、今後はそ
の借金を返済していかなければなら
ないなど、すべてが良くなったとは
言い切れない面もあるんだ。

